

国民運動『チーム・マイナス6%』 の原理・原則

イーソリューションズ株式会社
代表取締役社長 佐々木 経世

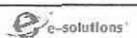
国民運動「チーム・マイナス6%」の原理・原則

2008年12月26日



Copyright © 2008 e-solutions All Rights Reserved.

STRICTLY CONFIDENTIAL



はじめに

- 「COOL BIZ」で国民の多くに認知された環境省「チーム・マイナス6%」は、原理・原則に基づき進めて、今までに大きな成果を挙げている。
- 本日は、前半に、この「チーム・マイナス6%」の原理・原則をご説明し、後半は、この原理・原則を「がん検診」に応用した「がん検診受診率50%に向けた取組(仮称)」をご説明したいと考える。
- 後半の「がん検診受診率50%に向けた取組(仮称)」は、厚生労働省の平成19年度「がん検診受診率向上に向けた戦略的企画・立案」で作成した「がん検診受診率50%に向けた取組」(仮称)事業化へ向けた報告書～最終報告～」を抜粋したものである。

目次

1章. 国民運動「チーム・マイナス6%」の原理・原則

- 1.1. 「従来の国民運動」の落とし穴(一例)
- 1.2. 従来の国民運動の課題
- 1.3. 「チーム・マイナス6%」:成功要素
- 1.4. (参考) 従来の情報環境(仮説)
- 1.5. 「チーム・マイナス6%」:成功要素 -再掲-
- 1.6. 繼続的一貫性ある取組

2章. 「がん検診受診率50%に向けた取組(仮称)」

- 2.1. がん検診受診率50%へ向けた課題(仮説)
- 2.2. がんに関する日本を代表する運動の分析
- 2.3. 「がん検診」における解決案(仮説)と施策案策定
- 2.4. 施策案 ① 集中キャンペーン
- 2.5. 施策案 ② 自分化の促進
- 2.6. 施策案 ③ 企業・団体連携
- 2.7. 施策案 ④ 実施本部の設置
- 2.8. H23年度がん検診受診率50%に向けて

1章. 国民運動「チーム・マイナス6%」の原理・原則

- 1.1. 「従来の国民運動」の落とし穴(一例)
- 1.2. 従来の国民運動の課題
- 1.3. 「チーム・マイナス6%」:成功要素
- 1.4. (参考) 従来の情報環境(仮説)
- 1.5. 「チーム・マイナス6%」:成功要素 -再掲-
- 1.6. 繼続的一貫性ある取組